

令和8年2月5日

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 岩月 進 先生御侍史

一般社団法人 日本薬学教育学会
理事長 乾 賢一
薬学教育カリキュラム検討委員会
委員長 小佐野博史

日本薬学教育学会「薬学教育カリキュラム検討委員会主催ワークショップ」への参加のお願い

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本薬学教育学会薬学教育カリキュラム検討委員会では、令和4年度改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラム（コアカリ）の周知徹底のため、令和7年度に2回「コアカリの理念と現実とのギャップ-幅広く教育に落とし込むためにみんなで話し合おう-」と題したワークショップを開催し、成果を第10回本学会大会シンポジウムで公表いたしました。WSにお集まりいただいた参加者からは改訂コアカリの理解が深まった、今後の薬学教育の在り方を共有できた、というご意見を頂いた一方で、参加者が少なく、もっと多くの薬学関係者と討論したいという課題を頂きました。

本委員会では、薬学教育の将来は現状では決して明るいものではなく、薬学系人材養成はもちろん、国民に広くその存在意義を問う時期に來ていると考えています。特に、2回のワークショップを通して薬学教育の肝である改訂コアカリの立て付けが十分理解されないまま教育が行われていることを、強く実感いたしました。そこでより多くの大学教員、実務実習指導薬剤師に参加いただき、更に議論を深めてもらうために、継続的にワークショップを企画し情報を共有していくことが大切だと考えて、今年度も、別紙に示しました第3回目のワークショップを実施することにいたしました。

つきましては、本ワークショップに少しでも多くの方に参加していただきたく、本学会の機関会員である日本薬剤師会にご案内することいたしました。貴会におかれましては事情をご理解いただき、各都道府県の薬剤師会に宛てて、ご案内いただけますようお願い申し上げます。

なお、大学からの参加者につきましては、本学会の機関会員である大学の学長、学部長に参加者募集のご協力をお願いしております。

なお、本企画はあくまで学会活動の一環ですので、組織を背負うことなく参加者個人の立場での参加していただくことを申し添えます。

本件につきまして、ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡下さい。何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

■申込先

日本薬学教育学会 薬学教育カリキュラム検討委員会 h-kosano@pharm.teikyo-u.ac.jp 宛に、

①所属先、②参加者氏名と役職（E-mail アドレスを含む）、を記入の上、お送りください。

締切：令和8年3月16日（月）

日本薬学教育学会「第3回薬学教育カリキュラム検討委員会主催ワークショップ」概要

1. 日程

第3回ワークショップ

令和8年3月30日(月) 10時開始(受付9時30分から) 17時終了予定

(日本薬学会第146年会の翌日)

会場：大阪医科薬科大学薬学部(大阪府)

テーマ：薬学教育が変われば薬剤師が変わる。

セッション1：薬学教育の現状と将来 ―今の薬学教育についてどう感じていますか―

セッション2：将来の薬剤師をより輝かせるためのカリキュラムとは

詳細なプログラムは、後日、参加者に直接ご連絡致します。

2. 参加者

薬学教育に関心のある方。

なお、日本薬学教育学会の会員でなくてもご参加いただけます。

3. 募集人数 60人

4. 参加費等諸費用

1) 参加費：無料

2) 昼食：各自でご用意ください(ペットボトル500mlを1本ご用意いたします)

3) 交通費、宿泊費は各自でご負担をお願いいたします。

5. 参加申込先と締切

1) 申し込み先：

日本薬学教育学会 薬学教育カリキュラム検討委員会 h.kosano@pharm.teikyo-u.ac.jp 宛に、

①所属先、②参加者氏名と役職(E-mailアドレスを含む)、を記入の上、お送りください。

2) 申し込み締切：令和8年3月16日(月)

6. 第1回、第2回ワークショップの目的と内容

1) 目的：各大学のカリキュラム作成を理解した教員と、その地域で実習を進めている主な臨床薬剤師と共に現場と大学の協働FDの一環として令和4年度改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラム(モデコア)の理解を深める。モデコア前文の理解を深め、これからの薬剤師を育てるために、コアカリをどのように活かすかを考える。

2) 内容

テーマ：コアカリの理念と現実とのギャップ ―幅広く教育に落とし込むためにみんなで話し合おう―

セッション1：「コアカリ：わからないこと、困っていること」

「カリキュラムって何？」

セッション2：国民のニーズに合った薬剤師を育てるために、モデコアをどのように活かすか。

以上

未来の赤ちゃんを守るために



ただ一度、受けよう、

風しんは、予防することができる感染症です。
まずは、風しんの免疫の有無を確認しましょう。

風しん抗体検査

❁ 風しんとは・・・

風しんウイルスによる感染症で、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどの症状を起こします。成人は小児に比べて症状が重くなることがあります。

❁ 予防が必要な理由・・・

- ・ 妊娠初期(20週以前)の妊婦に感染すると、お腹の赤ちゃんに、白内障、難聴、心疾患などを主な特徴とする「先天性風しん症候群」という病気を起こすことがあります。
- ・ 風しんに罹患すると、患者の咳やくしゃみで他人にうつるため、気付かずに感染させてしまうことがあります。



風しん予防のためのお願い

- ・ 風しん抗体検査で、風しんの免疫の有無を確認することができます。まずは、検査を受けて確認しましょう。
- ・ もし、十分な免疫が無い場合でも、有効な予防接種(麻しん・風しん混合ワクチン)があります。接種をご検討ください。

都内の区市町村では、妊娠を予定又は希望する女性とその同居者、妊婦の同居者等で、一定の要件に該当する方を対象に、風しん抗体検査を無料で実施しています。

1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性の方で、2025年3月末までに抗体検査を実施した結果、風しんの抗体が不十分な方は、2027年3月31日まで、公費での接種が可能です。

詳しくは、区市町村のホームページをご覧ください。か、予防接種担当窓口(裏面に掲載)へお問い合わせください。

各区市町村の風しん抗体検査および予防接種窓口一覧

区市町村	部署名	電話番号
千代田区	千代田保健所健康推進課感染症対策係	03(5211)8172
中央区	中央区保健所健康推進課感染症対策係	03(3541)5930
港区	港区予防接種予診票コールセンター	03(6400)0094
新宿区	健康部保健予防課予防係	03(5273)3859
文京区	保健衛生部・文京保健所予防対策課感染症対策担当	03(5803)1834
台東区	台東保健所保健予防課予防担当	03(3847)9471
墨田区	保健衛生部保健予防課感染症係	03(5608)6191
江東区	江東区保健所保健予防課ワクチン管理係	03(3647)8638
品川区	品川区健康推進部保健予防課予防接種担当	03(5742)9152
目黒区	健康推進部保健予防課予防接種係	03(5722)7047
大田区	健康政策部感染症対策課感染症対策担当	03(4446)2643
世田谷区	世田谷保健所感染症対策課予防接種担当 (世田谷区予防接種コールセンター)	03(5432)2437
渋谷区	健康推進部地域保健課予防接種係	03(3463)1412
中野区	健康福祉部保健予防課保健予防係	03(3382)6500
杉並区	杉並保健所保健予防課保健予防係	03(3391)1025
豊島区	健康部保健予防課予防接種グループ	03(4566)4115
北区	北区保健所保健予防課保健予防係	03(3919)3104
荒川区	健康部健康推進課予防接種係	03(3802)3574
板橋区	予防対策課予防接種係	03(3579)2318
練馬区	健康部保健予防課予防接種係	03(5984)2484
足立区	保健予防課予防接種係	03(3880)5094
葛飾区	葛飾区予防接種コールセンター	03(4446)3534
江戸川区	健康部保健予防課庶務係	03(5661)5209
八王子市	八王子市保健所保健対策課(抗体検査)	042(645)5162
	八王子市保健所健康づくり推進課(予防接種)	042(645)5102
立川市	保健医療部健康推進課予防接種係	042(527)3272
武蔵野市	健康福祉部健康課健康増進係	0422(51)7006
三鷹市	健康福祉部健康推進課予防接種係	0422(24)8050
青梅市	こども家庭部こども家庭センター管理係	0428(23)2191
	健康福祉部健康課予防係	
府中市	子ども家庭支援課母子保健係予防接種担当	042(368)5333
昭島市	保健福祉部健康課健康係	042(544)5126
調布市	福祉健康部健康推進課予防接種担当	042(441)6135
町田市	町田市保健所保健予防課保健予防係	042(725)5422
小金井市	福祉保健部健康課健康係	042(321)1240
小平市	健康福祉部健康推進課予防接種担当	042(346)3700

区市町村	部署名	電話番号
日野市	健康福祉部健康課予防係	042(581)4111
東村山市	子ども家庭部母子保健課事業係	042(393)5111
	健康福祉部健康増進課保健事業係	
国分寺市	健康部健康推進課予防係	042(312)8628
国立市	子ども家庭部子育て支援課子ども保健・発達支援係	042(574)3311
	健康福祉部健康まちづくり戦略室保健センター	042(572)6111
福生市	福祉保健部健康課健康管理係	042(552)0061
狛江市	福祉保健部健康推進課健康衛生係	03(3488)1181
東大和市	健康福祉部健康推進課成人保健係	042(565)5211
	子ども未来部子ども家庭センター母子保健係	042(565)5212
清瀬市	生涯健康幸福推進課健康推進係	042(497)2075
	福祉子ども部子育て支援課母子保健係	042(497)2077
東久留米市	福祉保健部健康課予防係	042(477)0030
武蔵村山市	健康福祉部健康推進課健康推進係	042(565)9315
多摩市	健康福祉部健康推進課健康推進担当	042(376)9111
稲城市	福祉部健康課健康推進係	042(378)3421
羽村市	子ども家庭部こども家庭センター母子保健・相談係	042(555)1111
	福祉健康部健康課保健センター係	
あきる野市	健康福祉部健康課予防推進係	042(558)1191
西東京市	健康福祉部健康課事業調整係	042(438)4021
瑞穂町	福祉部健康課健康係	042(557)5072
	福祉部子ども家庭センター課母子保健係	042(557)5098
日の出町	こども家庭センター相談係母子保健担当	042(588)4310
	いきいき健康課健康推進係	042(588)5426
檜原村	福祉けんこう課けんこう係(成人)	042(598)3121
	福祉けんこう課子育て支援係(子ども)	042(598)3122
奥多摩町	福祉保健課健康係	0428(83)2777
大島町	福祉けんこう課けんこう係	04992(2)1482
利島村	住民課	04992(9)0013
新島村	さわやか健康センター	04992(5)1856
神津島村	保健医療課保健センター係	04992(8)0010
三宅村	福祉健康課健康係	04994(5)0911
御蔵島村	総務課民生係	04994(8)2121
八丈町	福祉健康課保健係	04996(2)5570
青ヶ島村	総務課庶務民生係	04996(9)0111
小笠原村	村民課福祉係	04998(2)3939

(2025年12月現在)



自治体が実施する風しん抗体検査を受けられる場合があります。

特に、妊娠を予定又は希望する女性とその同居者、妊婦の同居者の方は、お住まいの区市町村にご確認ください。

東京都 風しん抗体検査

検索

カンケーないし。

本当にそう？

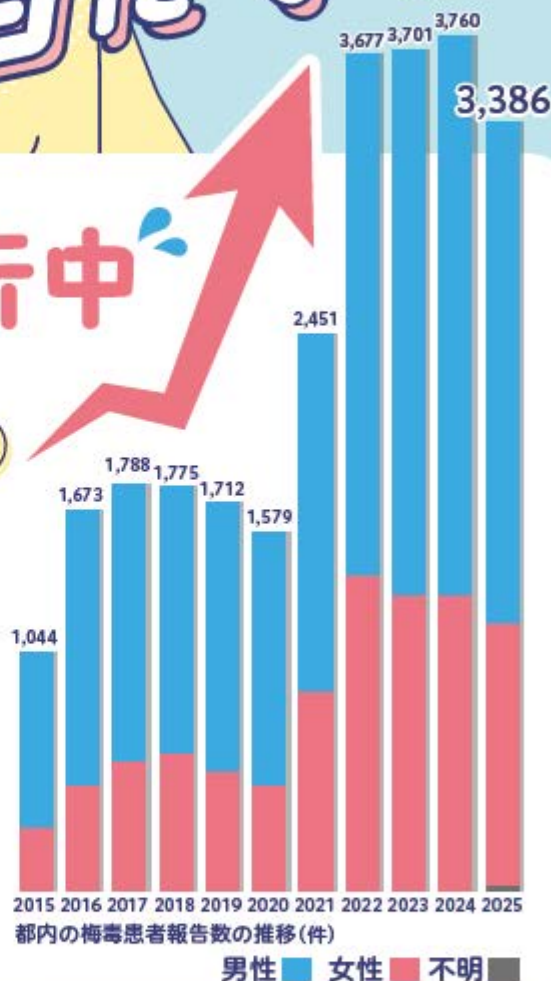
ばい どく
梅毒

が流行中

正しく知ろう

あなたと大切な人を守る 梅毒の知識

- 梅毒は、セックス(オーラルを含む)などで、粘膜や皮膚の小さな傷から感染します
- できもの・しこり・発疹などが現れ、症状は一時的に消えますが、静かに病気は進行します。治療せずに放置すると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。
- 予防にはコンドームの正しい使用が大切です。症状がなくても定期的な検査を受けましょう。
- 妊娠中に感染していると、お腹の赤ちゃんにも感染することがあります。



気になったら迷わずチェックを

検査で早期発見・早期治療

はじめてでも大丈夫。検査は、保健所・検査室で **匿名・無料**



第11回 杏林大学病院がん診療連携セミナー

日時：2026年3月17日（火） 19:00～20:30

オンライン会議システム：Zoom

参加費：無料 定員：300名 事前申し込み制

申し込み期間：2月6日（金）0時～3月17日（火）17:00

プログラム

座長：杏林大学医学部付属病院 薬剤部 係長 臼井 浩明

1. オープニング 19:00～19:05

杏林大学医学部付属病院 薬剤部部長 吉田 正

2. 講演1 19:05～19:45 「胆道がん薬物療法」

内容：胆道がんで使用されるレジメンとそのマネジメントについて紹介します。

杏林大学医学部付属病院 薬剤部 係長 長澤 知徳

3. 講演2 19:45～20:15

「地域薬学ケア専門薬剤師研修の成果報告」

内容：当院で研修を行った薬局薬剤師から制度や5年間の研修を振り返り、得られた成果について発表していただきます。

アイン薬局西新宿店 三宅 祥太 先生

4. 質疑応答 20:15～20:25

参加申し込みフォームへ入力いただくか、当日コメント入力にてご質問下さい。
本日の内容以外でも、がん領域に関わる運用や処方についてのご意見・ご質問も受け付けます

5. クロージング 20:25～20:30

杏林大学医学部付属病院 薬剤部副部長 小林 庸子

【注意事項】

- ・ 本セミナーを視聴希望の方は事前に下記申し込みフォームに入力をお願いします。
- ・ いただいたメールアドレスに招待メールをお送りします。
- ・ 日本薬剤師研修センターの単位申請は行いません。
- ・ 受講後、参加証明書を発行します。
- ・ Web参加の注意事項は裏面をご参照ください。
- ・ 質問がある方は申し込みフォームにご記入ください。

第11回 杏林大学病院がん診療連携
セミナー参加申し込みフォーム



<https://forms.office.com/r/G7NfqePxxr>

左側QRコードよりアクセスできます

Webセミナーに関する注意点

【注意事項】

- 本セミナーを視聴希望の方は期限までに申し込みフォームに入力をお願いします。
- いただいたメールアドレスに招待メールをお送りします。
- 翌日までに招待メールが届かない場合は、入力したメールアドレスをご確認のうえ、再度申し込みをお願い致します。
- アクセスURLやミーティングID、パスワードは他人に教えないでください。
- 本セミナーは日本薬剤師研修センターの単位申請は行いません。
- 質問は申し込みフォームにご記入ください。
- 当日の質疑応答を予定していますが質問が多数の場合は締め切らせていただく場合があります。
- 参加時はお名前と施設名を入力してください。メールアドレスや記号は使用しないで下さい。
- オンライン環境はご自身でご準備ください。
- Zoomの操作方法等につきましてはZoomのサイトで事前にご確認下さい。当日の通信トラブル等には対応致しかねます。
- 視聴時はマイクをミュートにしてください。発言時はマイクをオンにしてください。
- 問い合わせ先：kyorin-atc@ksot.kyorin-u.ac.jp

申し込み先：<https://forms.office.com/r/G7NfqePxxr>

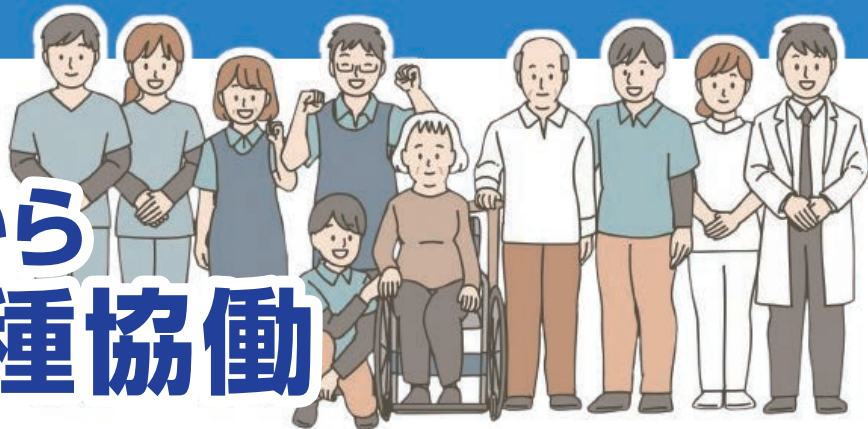
左側QRコードよりアクセスできます

第11回 杏林大学病院がん診療連携
セミナー参加申し込みフォーム



在宅医療連携シンポジウム

医科・歯科から 広がる 多職種協働



2026

3/22 日

定員 100 名

参加無料

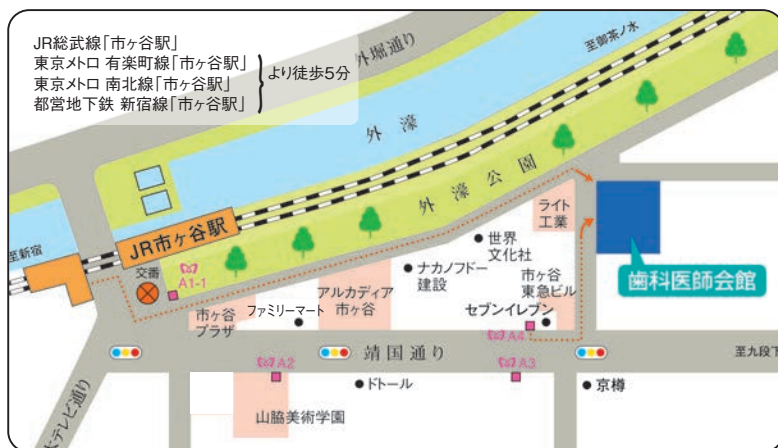
14:00~17:30 (終了予定)

対象者

医師・歯科医師・
在宅医療に関わる多職種の方々

歯科医師会館 大会議室

千代田区九段北 4-1-20



※駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

講演

- ① 東京都医師会 会長 尾崎 治夫 先生
- ② 東京都歯科医師会 会長 北村 晃 先生
- ③ 日本歯科大学口腔リハビリテーション
多摩クリニック 院長 菊谷 武 先生
- ④ 東京都医師会 理事 西田 伸一 先生



シンポジウム パネルディスカッション

- ⑤ 座長：東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長・研究所研究部長 平野 浩彦 先生

申込方法

本シンポジウムは **事前申込制** です。
下記 URL、二次元バーコードよりアクセスし、申し込みフォームに
必要事項をご入力の上、お申し込みください。
<https://forms.gle/NEDMms2Ycjtm6ns6>



申込締切

2026
3/16 月

問い合わせ先：東京都歯科医師会 地域保健課 電話 03-3262-1148 (植木・田口)

令和 7 年度 東京都在宅歯科医療推進事業



東京都



公益社団法人 東京都歯科医師会

失語症者向け 意思疎通支援者 養成講習会 受講者募集！

失語症は、言葉の障害です。脳卒中や事故などの後遺症で起こります。
話す、聞く、書く、読むが難しくなります。
記憶や判断力などは変わらないのに以前のように会話ができません。
孤立したり、誤解されたりすることもあります。

失語症を理解し、コミュニケーションの橋渡しをするのが「意思疎通支援者」です。

令和8年度失語症者向け意思疎通支援者養成事業
必修基礎コース受講者(44名) 募集

事業実施主体：東京都／八王子市

事業運営主体：東京都言語聴覚士会



一般社団法人
東京都言語聴覚士会
Tokyo Speech-Language-Hearing Therapists Association

ishisotsu@st-toshikai.org

募集説明動画を配信中

https://st-toshikai.org/ishisotsu_bosyu_douga/



基本的支援内容

外出支援

外出に同行し、他者とのコミュニケーションを支援する。

交通機関の利用支援

駅・バス停などを利用する際、路線図や案内表示の理解、窓口でのやりとりを支援する。

会議・講演会・趣味の会などの支援

会の内容の理解や、会議や集まりでのやりとりを支援する。

同病者とのコミュニケーション支援

失語症友の会などに同行し、コミュニケーションを支援する。

公共機関の利用支援

銀行・役所・郵便局などに同行して窓口などでのやりとりなどを支援する。

買い物・娯楽施設などの利用支援

店頭でのやりとり、商品説明の理解、施設の使い方や手続きの理解などを支援する。

意思疎通支援者養成講習会 概要（令和8年度）

○講習会の目標

失語症者の日常生活や支援の在り方を理解し、失語症者との1対1の会話を行えるようになり、日常生活上の外出場面において意思疎通の支援を行えるようになること。

修了後は登録し都内で活動すること。

○講習内容 日程（合計40時間）

1) 講義および合同実習

失語症とは何か 意思疎通支援者の役割 心構えと倫理 コミュニケーション支援
外出同行支援 身体介助 その他失語症者の意思疎通支援に必要な事項

日程：7/5(日) 7/26(日) 8/1(土) 8/23(日) 9/13(日) 10/4(日)
11/1(日) 12/6(日) 1/31(日)

2) 失語症友の会・サロン等での実習

コミュニケーション支援実習

日程:令和8年8月より翌年1月まで実施。 詳細は実習先による。

○主な講習会場

TKP新宿西口カンファレンスセンター

○募集要領請求先

東京都言語聴覚士会
失語症者向け意思疎通支援事業



URL : <https://st-toshikai.org/ishi-bosyu/>
メール : ishisotsu@st-toshikai.org
電話 : 03-5325-2032 FAX共通



JR線 新宿駅
7番出口 徒歩1分
京王線 小田急線
新宿駅 徒歩2分
丸ノ内線 新宿駅 徒歩3分